

地域分権制度創設に 向けた取組みについて

川西市 総合政策部 地域分権推進課

地域分権制度とは？

地域のありたい姿を実現しやすくするために、
地域に一定の権限や財源を移譲

なぜ地域分権制度が必要なの？

- 人口減少に伴う税収減
- 福祉ニーズは増大する一方
- 多様化する地域の課題に、行政だけで対応していくことはもはや不可能



実状を一番よく知っている**地域力**への期待

地域分権制度創設までのstep

平成23年度 地域別懇談会

- 地域のありたい姿

平成24年度 地域夢・未来カフェ

- ありたい姿を実現しやすくする仕組み = 地域分権制度

平成25年度以降 地域分権制度への段階的移行

- 地域担当職員の配置
- 条例等の整備 など



地域夢・未来カフェ
とは？

地域夢・未来カフェとは？

～ カフェのような気楽な雰囲気～

- 概ね小学校区単位で開催
- 1回2時間 14地域×3回 計42回
- 開催期間 平成24年10月～平成25年2月

どれくらいの人に参加したの？

812人

	男性	女性
第1回	171	107
第2回	180	102
第3回	160	92
合計	511	301

地域夢・未来カフェとは？

多様な主体が
集まり、話し合う場

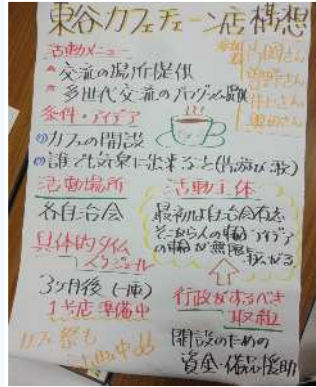
コミュニティ	自治会	地区福祉委員会	PTA
こども会	自主防災会	老人クラブ	環境衛生推進協議会
人権推進委員	事業者	NPO法人ボランティア	サークル
スポーツクラブ 21	民生委員 児童委員	青少年補導委員	小学校
保育所	公民館	市職員のワーキンググループ	その他



第1回
地域別懇談会の振りかえり
(課題と取組の整理)



第2回
地域のありたい姿を実現する
ための取組を検討



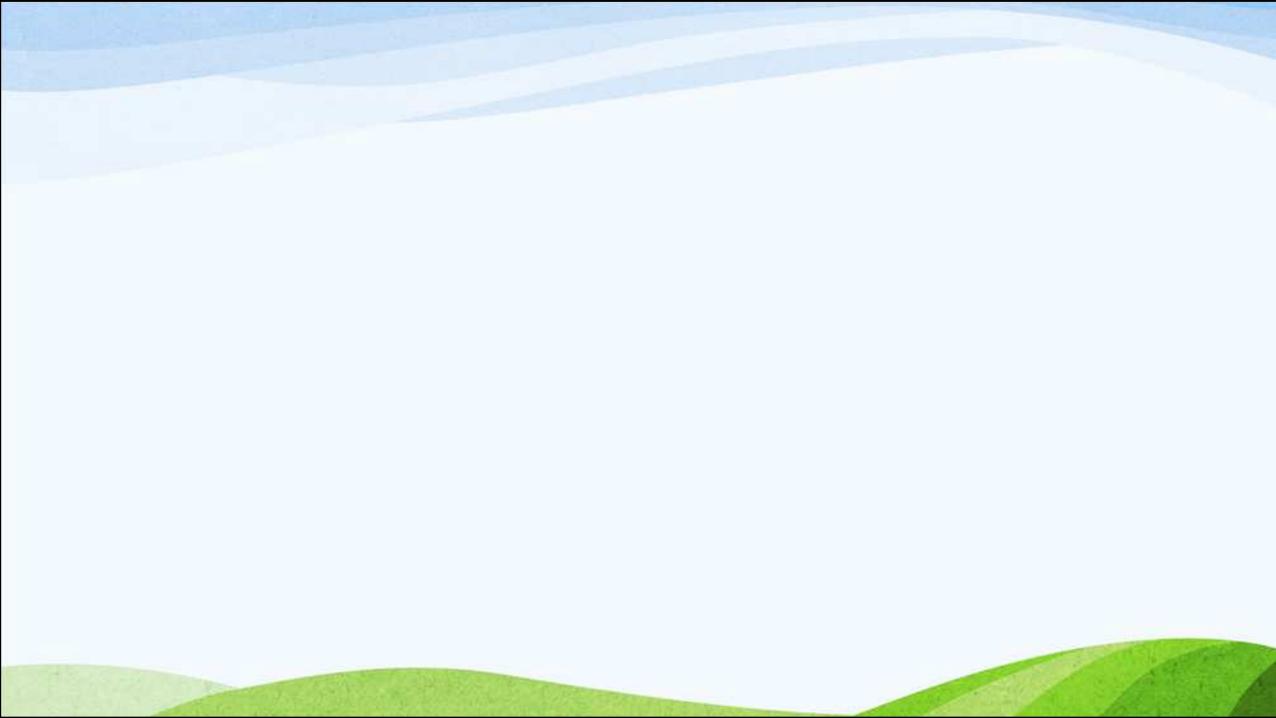
第3回
取組み案をまとめる




川西市や地域の状況について
3択クイズで確認



今後検討していくべき、地域分権
制度の論点について説明

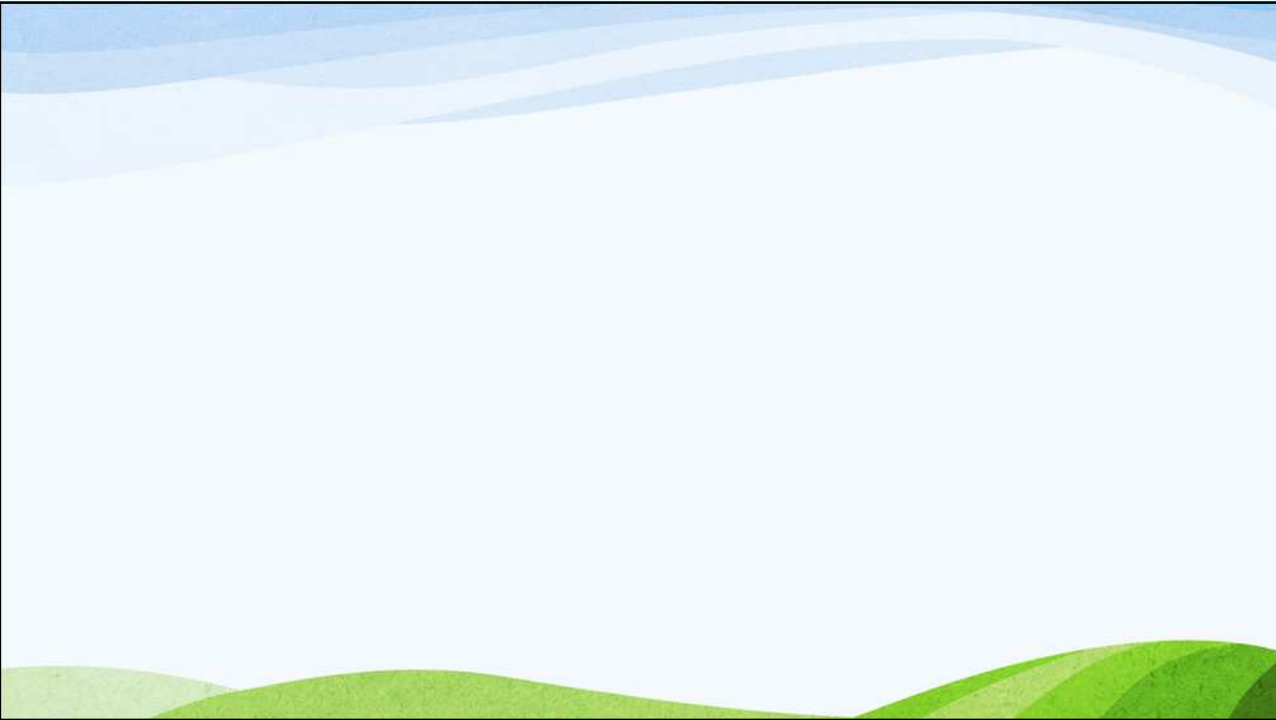


地域分権制度のあり方について 話しあえばいいのでは？

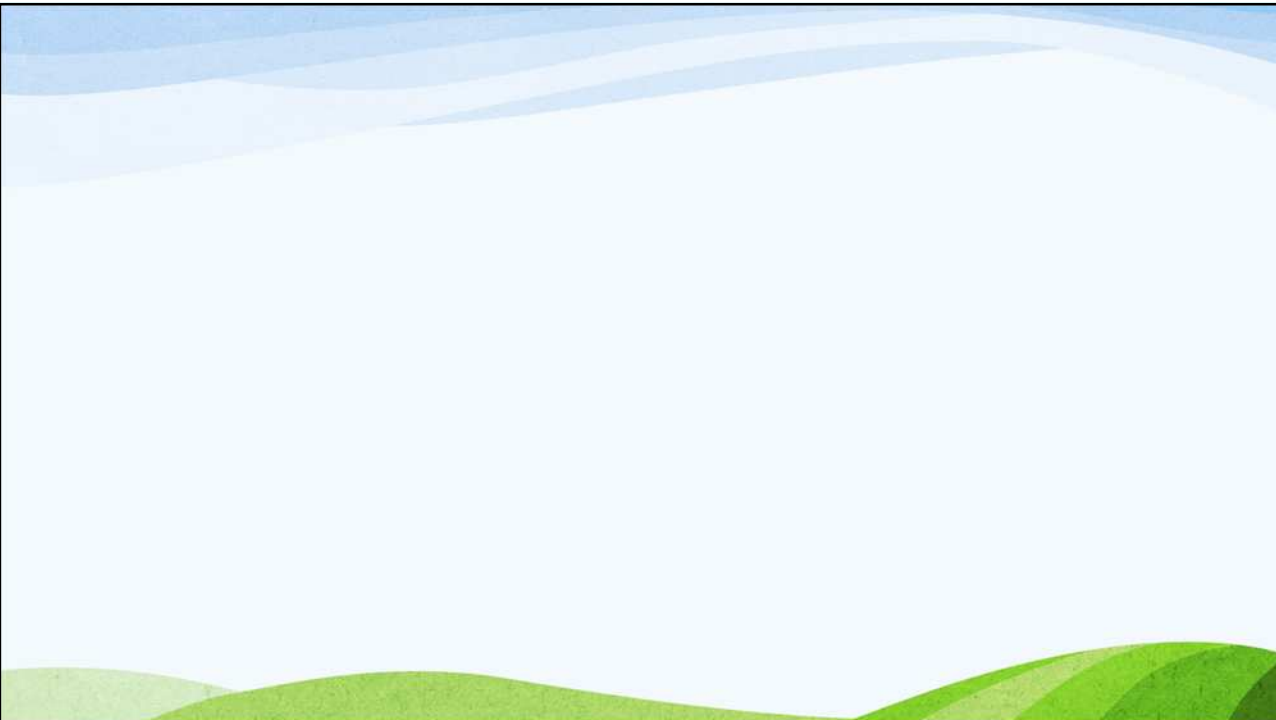


取組み案を考えた理由

- 地域分権制度のあり方そのものを議論するのは、イメージするのが難しく、参加できる人が限られてしまう。
- 地域分権制度は、その地域の全員が参加し、意見が言えるような制度を目指している。
- 「地域のありたい姿」を実現するための取組を、その地域に関わるいろいろな人の意見を聞きながら考え、その取組を実現するために、何が障害となるか、行政からどのような支援があれば良いかなど



これで地域分権制度の素材が
集まったの？



カフェで得られた素材

400項目以上

今後のスケジュールは？

- 25年度 地域担当職員配置
権限や財源の移譲先となる協議の場づくり
- 6月頃 「（仮）地域分権推進基本方針」の策定
関連法制の整備（順次）
- 26年度 組織を条例で認定
- 27年度 権限や財源の移譲

2013 川西市 総合政策部 地域分権推進課

Tel : 072-740-1600
Fax : 072-740-1315
mail : kawa0190@city.kawanishi.lg.jp